

【プレスリリース】

McAfee Enterprise

2021年8月18日

※当資料は、米国時間 2021 年 8 月 3 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

## McAfee Enterprise、「ゼロトラスト」を実現する MVISION Private Access を発表

*データを中心に据えた統合保護、アプリへの高速ダイレクトアクセス、  
プライベートアプリケーションに対する 99.999%の可用性を実現*

McAfee Enterprise は、本日、より柔軟な「ゼロトラスト」アクセスを可能にし、ハイブリッド IT 環境にホストされているプライベートアプリケーションに対するデータ保護および脅威防御機能を拡張する McAfee MVISION Private Access を発表しました。

一部の地域において新型コロナウイルス感染症のパンデミックが収束しつつある中、多くの企業は、リモートワークのオプションを継続しています。かつての物理的なオフィスは、今やハイブリッドな勤務環境に置き換えられました。それに伴い、従業員は高速で遅延の少ないデータアクセスとシームレスなコラボレーションのため、クラウドへの依存をますます高めています。パブリッククラウドの SaaS アプリケーション採用は数年前から著しい成長を見せていますが、ほとんどの企業は依然としてデータセンターや IaaS 環境でホストされているプライベートアプリケーションに大きく依存しています。

IDC のネットワークセキュリティのリサーチディレクター、Christopher Rodriguez 氏は、次のように述べています。「ますますプライベートアプリケーションのクラウドへの移行が進むにつれ、VPN と比べてセキュリティと柔軟性に利点があるため、企業はゼロトラストネットワークアクセスの採用を急速に進めています。しかし、プライベートアプリケーションには、SaaS アプリと同様にデータ盗難リスクを引き起こす危険性があり、このリスクに対処する必要があることを認識しなければなりません。」

McAfee MVISION Private Access は、業界をリードするデータ認識型のゼロトラストネットワークアクセス (ZTNA) ソリューションです。これによってどのような場所やデバイスからでも、プライベートアプリケーションへのより柔軟な「ゼロトラスト」アクセスが可能になり、ZTNA を介した安全なデータコラボレーションを可能にする統合型 DLP 機能を提供します。このソリューションは、管理および非管理デバイスをカバーし、マカフィーのエンドポイントセキュリティ技術を通じてデバイス状態の広範な情報を取得することで継続的なリスク評価を実行します。さらに、MVISION Private Access はマカフィーの [MVISION Unified Cloud Edge](#) (UCE) と統合し、クラウド、プライベートアプリケーション、Web、エンドポイントにわたって、単一の可視性と制御を提供します。

McAfee Enterprise の最高製品責任者である Shishir Singh (シシル・シン) は、次のように述べています。「ZTNA は、クラウドファーストの導入、テクノロジースタックの簡素化、コストと複雑さの軽減、生産性の向上を目的として構築されています。しかし、既存の ZTNA ソリューションには、増加するリモート接続をセキュアにするために必要なクラウドと Web セキュリティに関連するデータセントリックのセキュリティコントロールがありません。McAfee MVISION Private Access は、リ

モートで働く従業員のプライベートアプリケーションへの安全かつシームレスで超高速なアクセスを可能にし、追加のハードウェア費用、時間の掛かる設定プロセス、従来のVPNに関連する複雑なアーキテクチャを解消します。」

McAfee MVISION Private Access は以下の機能によって、どこでリモート作業をしても、どんなデバイスを使用しても、プライベートリソースにセキュアかつユビキタスなアクセスを提供し、リモート従業員とのコラボレーションをセキュアにします。

- **統合型 DLP と業界をリードするリモートブラウザ分離 (RBI)** : 高度な脅威防御とプライベートアクセスセッションを通じて連携されるデータに対する完全な制御を可能にし、エンドユーザーデバイスのマルウェア感染を防ぐために、機密データの不適切な処理を防ぎ、悪意あるコンテンツを含むファイルをブロックし、未知のトラフィックアクティビティをセキュアにします。
- **Unified Cloud Edge との統合** : CASB と Secure Web Gateway (SWG) を含む McAfee MVISION UCE と統合し、単一の可視性、柔軟なアクセス制御、エンドツーエンドのデータ保護、高度な脅威防御を可能にします。このシームレスに設定されたプライベートアクセスは、同サービスエッジを介した他のセキュリティ機能と共に、Secure Access Service Edge (SASE) 採用の基盤を確立します。
- **デバイスアクセス制御** : 非管理および管理デバイスへのフリクションレスなサポートはユーザーおよびデバイスの権限に基づいたアプリケーションへのアクセス制限を提供するソフトウェア定義の境界を作成し、脅威の拡散を防ぎます。
- **エンドポイントセキュリティと状態評価** : デバイスとユーザーの状態を評価するため、10億個のセンサーから集積したプロアクティブな脅威インテリジェンスに基づくマカフィーのエンドポイント保護機能から提供されるコンテキストは、リスクベースでのゼロトラストの意思決定をリアルタイムで通知します。
- **ハイパースケールサービスエッジ** : クラウドグレードでの 99.999% の可用性を備えたインテリジェントなピアリング PoP アーキテクチャで、従来の VPN をはるかにしのぐアプリへの超高速ダイレクトアクセスとシームレスなユーザー体験を提供します。

また、MVISION Private Access は、IAM (アイデンティティおよびアクセス管理) および MFA (多要素認証) ソリューションともさらに統合され、アプリケーションへのアクセスのための強力な認証オプションを可能にし、コンテキストベースのアクセス制御を補完します。これにより、攻撃者が、不正アクセスしたデバイスや不正取得したユーザー認証を悪用して企業ネットワークに侵入するリスクを排除し、攻撃がネットワーク上に拡散することを防ぎます。

#### 参考情報:

- [より柔軟なゼロトラストを実現する MVISION Private Access を発表](#)
- [McAfee MVISION Private Access ソリューション概要 \(英語\)](#)

#### McAfee Enterprise について

McAfee Enterprise は、法人向けサイバーセキュリティの専門企業です。世界トップクラスのソリューションから成るポートフォリオにより、変化するセキュリティ需要を満たし、世界中の主要な企業、団体、政府のニーズに対応しています。詳細については、[www.mcafee.com/enterprise](http://www.mcafee.com/enterprise) をご覧ください。

McAfee Enterprise のテクノロジーの機能と特徴はシステム構成によって異なり、有効なハードウェア、ソフトウェア、またはサービスのアクティブ化が必要になる場合があります。100% 安全なコンピューターシステムはありません。

<本情報のお問い合わせ>

McAfee Enterprise ( [www.mcafee.com/enterprise/ja-jp/home.html](http://www.mcafee.com/enterprise/ja-jp/home.html) )

広報担当 戸田

Tel: 070-2680-0731

[hiromi\\_toda@mcafee.com](mailto:hiromi_toda@mcafee.com)